



自転車利用実態定点調査票

	走行空間				乗種	階次		危険運転行為								
	車道左側	車道右側	歩道中央	歩道		子乗せ	電駐	車	歩道	肩荷	携帯電話	片手運転	片手運転	立ち漕ぎ	ハンドル	過積載
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																

調査日時：	平成	年	月	日( )
天気：				風速：
調査時間：			～	

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、10～32%と多岐にわたるが、平均すると20%程度である。

依然、歩道を通行する自転車が多く、今回も、全体の7割強を占めている。同一地点(個別データ)においても、午前と午後で異なったデータとなっている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(196件)・ハンドルに荷物(108件)・片手運転(91件/内16件は、携帯電話を使用しながらの運転)・車道右側走行(65件)・立ち漕ぎ(42件)・歩道上でのスピードの出しすぎ(41件)・子乗せ後部席に荷物掛け(\*1)(36件)・過積載(33件)・脇見運転(18件)・ジグザグ運転(14件)等の順となっている。

\*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

## 【総合】

今回は、平成 29 年度第 8 回目の調査となり、平成 29 年 4～11 月分の 8 カ月期間の様々な点で比較してみた。

- ・利用者別                    今回も、午前が午後の利用者を上回った。
  
- ・車道左側走行率            今回(20.1%)は、8 カ月間中では中位で、9 月(23.3%)・10 月(22.1%)・6 月(21.8%)・8 月(21.3%)・11 月(20.1%)・7 月(19.7%)・4 月(19.6%)・5 月(19.4%)の順である。  
                                  なお、午前(18.9%)は、8 カ月間中では下位で、9 月(23.6%)・10 月(21.5%)・11 月及び 6 月(21.4%)・4 月(21.3%)・8 月(20.8%)・5 月(19.9%)・7 月(19.5%)・11 月(18.9%)の順である。  
                                  また、午後(21.4%)は、8 カ月間中では中位で、9 月(23.0%)・10 月(22.8%)・8 月(21.9%)・6 月(21.8%)・11 月(21.4%)・7 月(20.0%)・5 月(18.8%)・4 月(17.9%)の順である。
  
- ・子乗せ自転車              今回(26.9%)は、8 カ月間中では上位で、11 月(26.9%)・4 月(26.2%)・9 月及び 10 月(25.8%)・5 月(25.7%)・8 月(23.9%)・7 月(23.4%)・6 月(21.8%)の順である。  
                                  なお、同自転車における同乗者あり(38.3%)の場合でのヘルメット着用率は、78.4%(週平均は、70～81%の範囲で推移)である。  
                                  今回(78.4%)は、8 カ月間中では上位で、11 月(78.4%)・6 月(78.0%)・10 月(77.9%)・9 月(76.2%)・5 月(74.4%)・7 月(71.9%)・4 月(70.5%)・8 月(69.1%)の順である。
  
- ・電動自転車                今回(40.8%)は、8 カ月間中では上位で、10 月(43.3%)・4 月(41.5%)・11 月(40.8%)・5 月(39.8%)・9 月(38.7%)・8 月(38.5%)・7 月(35.9%)・6 月(34.9%)の順である。
  
- ・危険運転行為              上位 3 件別では、[肩に荷物・ハンドルに荷物・片手運転] の順であり、期間中の共通項目は、全項目である。  
  
(違反行為を含む)            一方、下位 3 件別では、[立ち漕ぎ・脇見運転・ジグザグ運転] の順であり、期間中の共通項目は、立ち漕ぎである。

なお、今回も、肩に荷物・ハンドルに荷物だけで、全体(667件)の4割強(304件)を占める形となった。

(危険防止の観点から籠の装備や荷台に装着等の必要性がある)

また、利用者全体(1482名)における危険運転行為(違反行為を含み667件)の比率は、割合上(\*2)では、42%となっている。

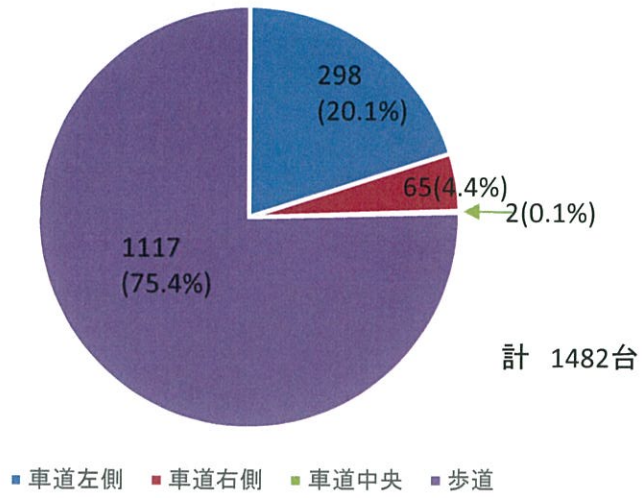
\*2 実際は、1名で複数の危険運転行為等を実施している件(51件)も含まれるため

なお、現在、調査地点の近くに臨時のバス停(1年の期限付き)が設置されているため、車道右側走行者は、バス接近時において危険な状況(同様にバス側からも対向車となり危険)となるため、速やかに止めるべき行為である。

今回の雨天時のデータは、傘さし運転者(計1人)に対し、合羽着用者(計3人)で3倍であった。

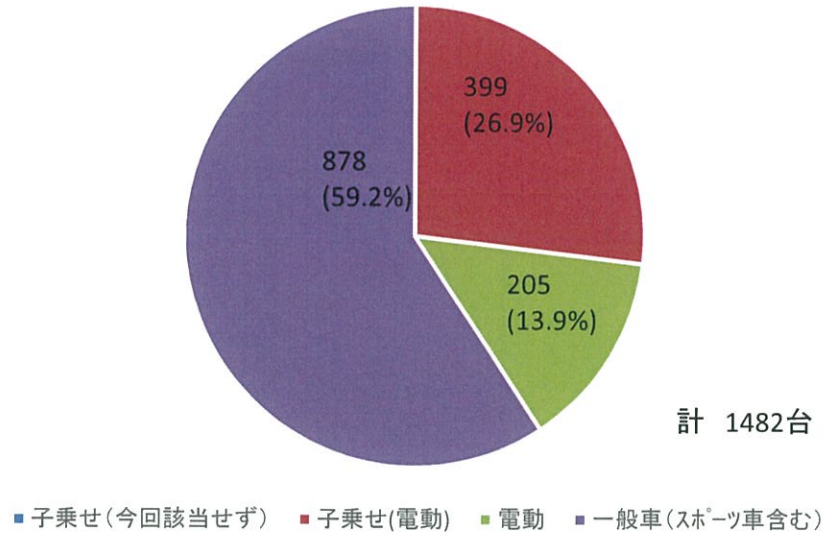
調査期間は、1日間であった。

### 走行空間



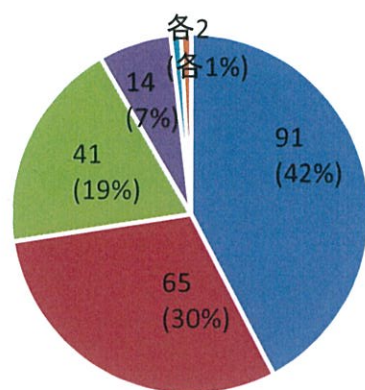
調査期間 11/1～30

### 車種



調査期間 11/1～30

### 違反運転行為



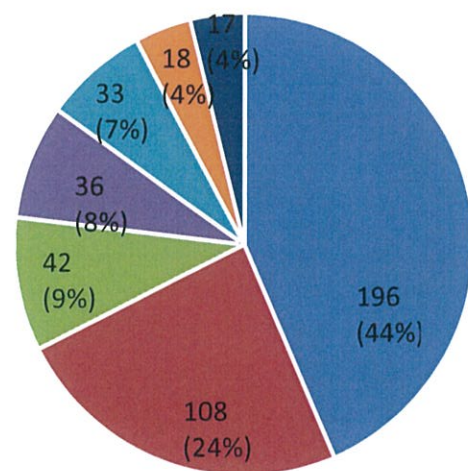
計 215件

■ 片手運転 \* 1 ■ 車道右側 ■ スピード出し過ぎ ■ ジグザグ運転 ■ 斜め横断 ■ 車道中央

調査期間 11/1~30

\* 1 内16件 携帯電話を使用中の運転

### 危険運転行為



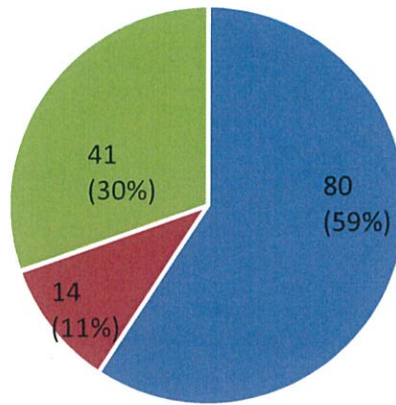
計 450件

■ 肩に荷物 ■ ハンドルに荷物 ■ 立ち漕ぎ \* 1  
 ■ 子乗せ後部席に荷物掛け ■ 過積載 ■ 脇見運転  
 ■ その他

調査期間 11/1~30

\* 1 比率内訳: 上り坂32・下り坂10

### 違反運転行為(歩道上)



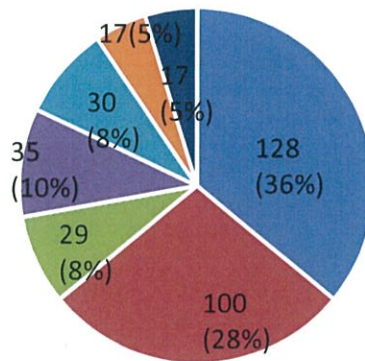
計 135件

■ 片手運転 \* 1 ■ ジグザグ運転 ■ スピード出し過ぎ

調査期間 11/1~30

\* 1 内14件 携帯電話を使用中の運転

### 危険運転行為(歩道上)



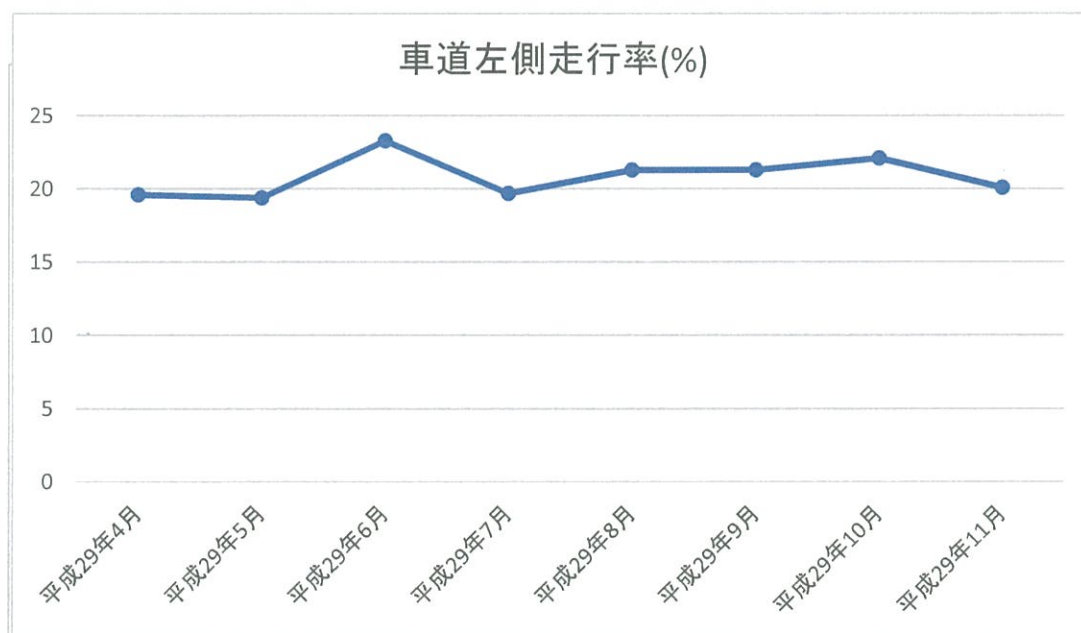
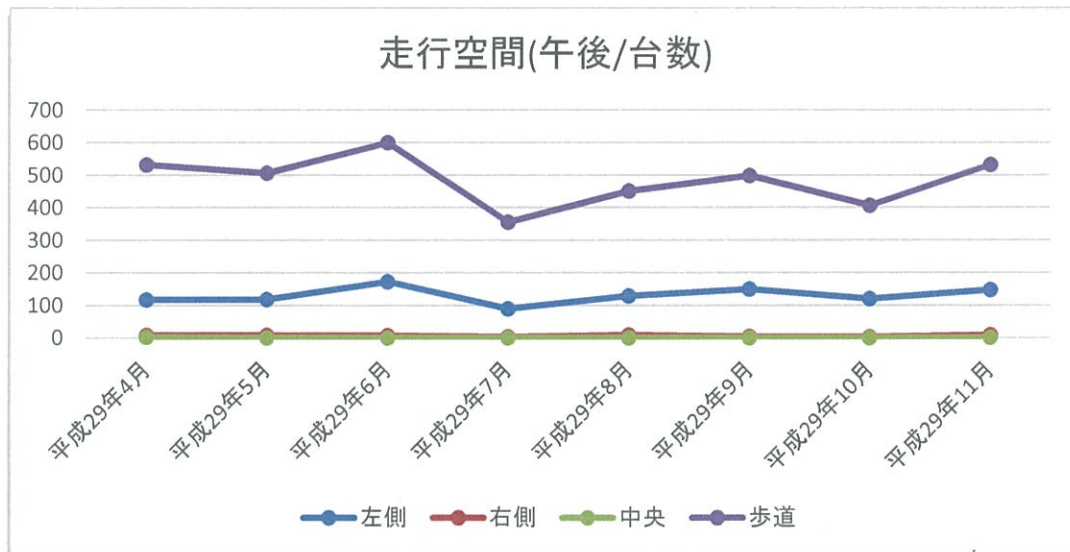
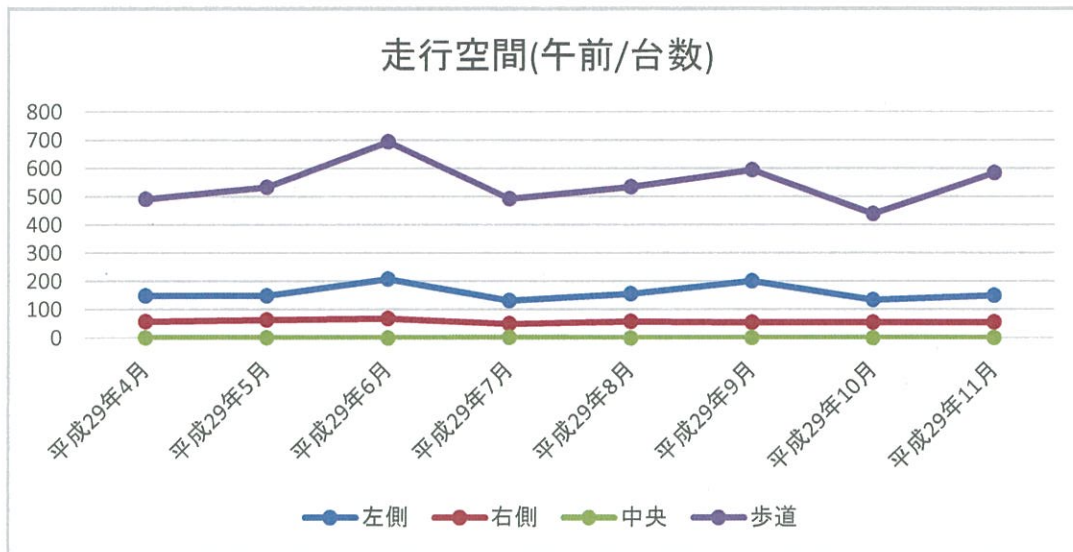
計 259件

■ 肩に荷物 ■ ハンドルに荷物 ■ 立ち漕ぎ \* 1  
 ■ 子乗せ後部席に荷物 ■ 過積載 ■ 脇見運転  
 ■ その他

調査期間 11/1~30

\* 1 比率内訳: 上り坂29・下り坂0







## 自転車利用実態定点調査報告（B地点）

平成29年12月

（一財）日本自転車普及協会

**調査目的** 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

**調査日時** 平成29年11月29日  
[午前]9:00～10:00/ [午後]14:00～15:00

**調査場所** ・ 白金幼稚園前（庭園美術館西交差点（首都高速目黒線直下）から70m程の上り坂）

**概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り上り4車線及び歩道:幅員3.1m  
[一部歩道橋橋脚部分1.5mあり])  
調査対象外(反対側上り歩道)



上り線車道	歩道	← }	対象外 対象 エリア
	←直進・右折レーン		
	←直進レーン		
	←左折レーン		
	←左折レーン		
	歩道	↑	
	白金幼稚園		

調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態調査票

No.	走行空間				危険運転行為			
	歩道	車道左側	車道中央	歩道	車道中央	歩道	車道中央	歩道
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								

調査日時	平成 27 年 11 月 1 日
天気	晴
調査時間	10:00 ~ 12:00

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、22%であり、また、車道中央走行率は、15%であり、依然、歩道を通行する自転車が、全体の6割強を占めている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、車道中央走行(21件)・肩に荷物(17件)・立ち漕ぎ(7件)・片手運転(6件/内2件は、携帯電話を使用しながらの運転)・ハンドルに荷物(6件)・過積載(3件)の順となっている。

【総合】

今回は、前回に調査したデータ及び下り地点(自転車総合ビル前の11/28)とのデータについて以下の項目について比較してみた。

・車道左側走行率

今回(22.0%)は、前回(18.4%)の1.2倍の水準である。  
 なお、午前(24.7%)は、前回(18.7%)の1.3倍の水準である。  
 また、午後(17.3%)は、前回(17.9%)と同様の水準である。

なお、午前の上り地点の白金(以下、上り地点と呼称・25%)は、下り地点の自転車総合ビル前(以下、下り地点と呼称・21%)の 1.2 倍の水準である。

また、午後の上り地点 (17%)は、下り地点 (17%)と同等の水準である。

#### ・子乗せ自転車

今回(18%)は、前回(21%)の 9 割の水準

上り地点(18%)は、下り地点(28%)の 6 割の水準

なお、同自転車における同乗者あり(16%)の場合でのヘルメット着用率は、75%である。

今回(75%)は、前回(67%)の 1.1 倍の水準である。

さらに、ヘルメット着用率の上下線での比較として、上り地点(75%)は、下り地点(57%)の 1.3 倍の水準

#### ・電動自転車

今回(33%)は、前回(34%)と同様の水準である。

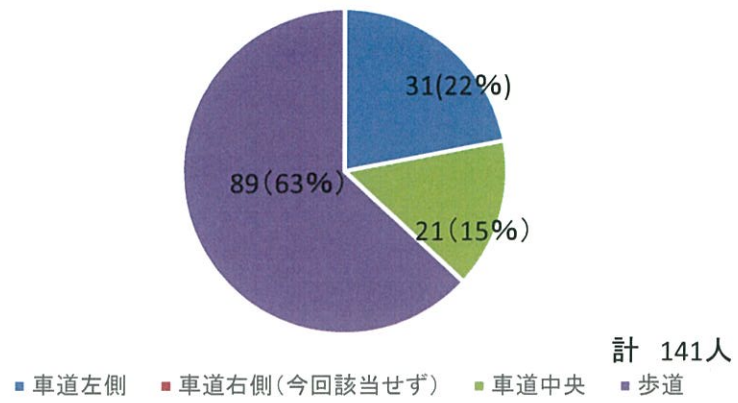
上り地点(33%)は、下り地点(43%)の 8 割の水準

・危険運転行為 上り地点の [車道中央走行・肩に荷物・立ち漕ぎ] に対し、  
(違反行為を含む) し、下り地点では [肩に荷物・ハンドルに荷物・片手運転] であり、共通項目は、肩に荷物の 1 件となっている。

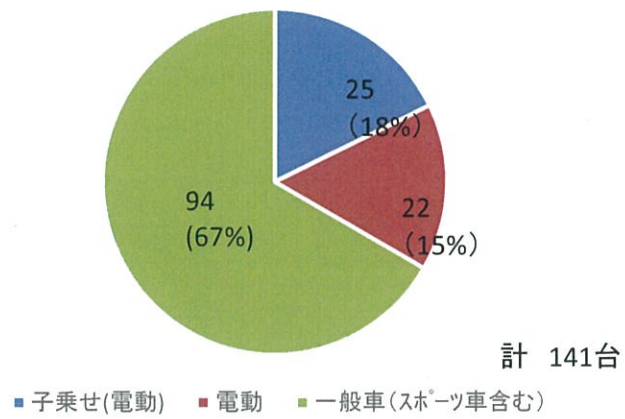
なお、中央走行者については、基本的に電動自転車を使用していない。

さらに、車道中央走行が多い理由として、上り車線先の庭園美術館西交差点において、歩行者横断帯中央にて左折道路と直進道路が分断されており、直進する利用者は、同交差点のかなり手前から 道路中央を走行していたが、4 車線での中間(両隣が 2 車線)走行のため車両に挟まれてながらと、かなり危険な走行を強いられている感が窺えた。

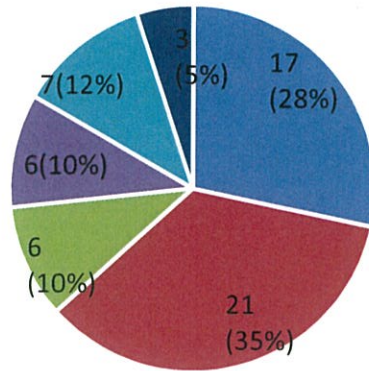
### 走行空間



### 車種



### 危険運転行為(違反行為含む)



- 計 60件
- 肩に荷物
  - 片手運転
  - 立ち漕ぎ
  - 過積載
  - 車道中央
  - ハンドルに荷物
  - 子乗せ後部席に荷物掛け(今回該当せず)

### 危険運転行為 (違反行為を含む)

